

パパイヤ品種台農5号の遺伝子組み換え問題の経緯と現状について

沖縄県南城市

パパイヤ生産農家 大城 浩明

平成24年 3月15日

衆議院第二議員会館8会議室

1. 私は沖縄県内のパパイヤ生産農家を増やすため、色々な品種を栽培研究し、問題になっている台農5号は全体の2割程度栽培していましたが、**行政の指導に従いこれまでにない高値で取引されていた時期にパパイヤ台農5号を全て伐採しました。**
2. 沖縄でパパイヤは古から夏場野菜の少ない時期に、野菜用として利用される他、産後の体力回復や母乳が出やすくなること等で、伝統食として長年親しまれてきました。
3. 特に今回遺伝子組み換えで問題になっている台農5号は、当初からウイルス抵抗性品種と言われ、特に露地栽培に向く品種として同問題が発生するまでパパイヤ栽培農家では定番の品種になっていました。
4. **去年の3月に遺伝子組み換え問題が報道されるまで、沖縄県中央卸売市場ではハウス物の秀品で、高値で1kg1500円程度まで値上がりしていましたが。しかしながら、マスコミ等で遺伝子組み換え問題が報道されると、他の品種まで半分以下まで値下がりした状態になりました。**
5. 沖縄県内で需要のある野菜パパイヤの代表格と言えば、「台農5号」で、沖縄県も栽培指針等で取り上げている品種でした。
6. **これまで農林省が農家への損失補償等について沖縄県やJAと数回会議を行っていることは評価するものの、1年経過した現在でも解決されてない状況にあります。**
7. 沖縄には「こー（買）い、たし（助）き」と言う方言があって、「困っている売り手を消費者が買って助ける」という意味で人情持ちの方が多く、今回の問題でも数名から申し出がありましたが、事情を説明して丁寧にお断りしたことがあります。
8. **このような中、国から未だ農家に対する金銭的な手当ては行われなく、パパイヤ生産農家として大変不満を持っています。**
9. パパイヤ生産農家の一人として、**国は台湾で遺伝子組み換えのパパイヤがあることを知った段階で、遺伝子組み換えの検査についても植防法のような国内法を整備し、水際でストップすべきだったと考えます。**
10. **ご承知のとおり、「2012年食品トレンド」の1位は、「安全・安心志向」であり、消費者が「安全な食べ物を安心して食べたい」と言う思いはますます強くなっています。**
11. 環境問題の古典として、今から50年程前に出版されたレイチェルカーソンの「沈黙の春」、少し遅れて有吉佐和子さんの著書「**複合汚染**」で指摘されたこともあって、現在では農薬も安全重視に変わってきましたが、今度は「**遺伝子組み換え汚染**」で生産農家が苦しみ、消費者には不安を与えている現状です。
12. 国は、沖縄で台農5号の遺伝子組み換え問題が渦巻いている最中に、昨年12月にハワイ産の遺伝子組み換えパパイヤの輸入を解禁しました。何か矛盾していないでしょうか？
国は、沖縄県で発生したパパイヤの遺伝子組み換え問題をどのように解決するおつもりでしょうか？
13. 国は早めに国内法を整備し、消費者には「安心を」、パパイヤ生産農家には、「一日でも早い損失補償」することを強く訴えます。